

【NEWS RELEASE】

2021年12月13日

SMBC日興証券株式会社

**Nikko Open Innovation Lab 主催の「高専インカレチャレンジ第二弾」
最終審査会にて、未来を担う高専生が独創的なビジネスアイデアを発表**

SMBC日興証券株式会社は、2021年12月12日にNikko Open Innovation Lab[※](以下「NOIL」)主催の「高専インカレチャレンジ第二弾」(以下「本チャレンジ」)の最終審査会を実施しましたのでお知らせいたします。

2021年10月3日に開幕した本チャレンジは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全行程オンラインでの開催となりました。北陸地域のみを対象とした第一弾から、今回の第二弾では対象の高等専門学校(以下「高専」)を全国に拡大し、学生23名が7チームに分かれ、企業から出題された実践課題に取り組みました。異なる高専の学生同士でチームを組み、高専卒業生の起業家を中心とするメンターの助言を受けながらアイデアを競い合いました。

本チャレンジには、イオン株式会社(取締役兼代表執行役社長:吉田 昭夫、本社所在地:千葉県千葉市、以下「イオン」)から、「異高専連携でイオンを改革せよ!」をテーマにイオンのグループ各社の社員から31の企業課題が寄せられ、それらを解決するアイデアが募集されました。

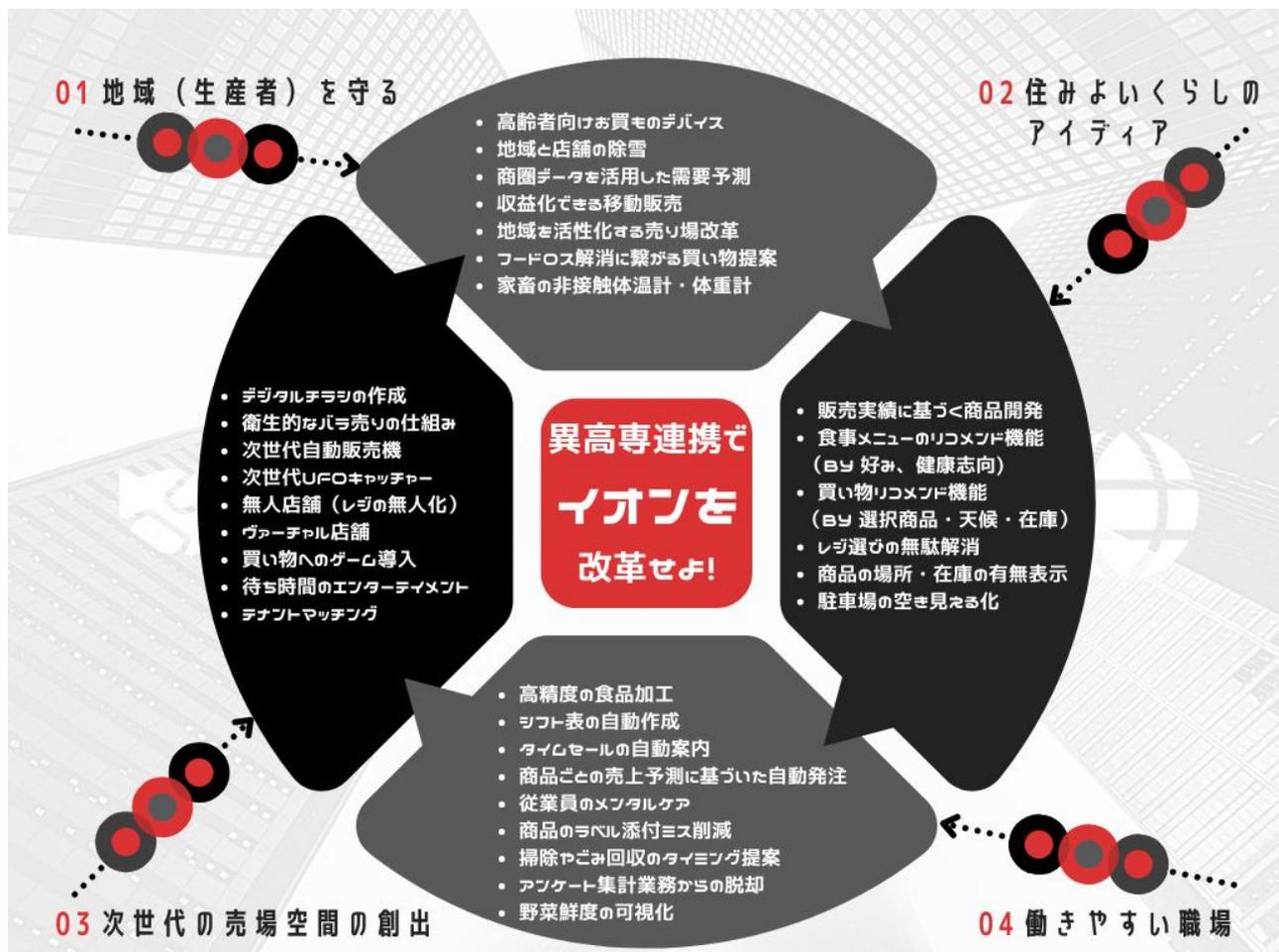
最終審査会ではイオンの社員を中心に構成される審査員団に対して、力のかもったプレゼンテーションと高専の学生ならではの試作品を用いた実演がチーム毎に行われ、UX/UIを具体的にイメージできる状態にまで落とし込んだハイレベルな提案が繰り上げられました。

審査の結果、最優秀賞には、自分用にカスタマイズした商品情報(価格、アレルギー成分、クーポン等)を、買い物をしながら値札のバーコードから読み込んで表示できるパーソナライズサービス「+Connect」が選ばれました。買い物におけるユーザーの利便性を多様な観点から分析し、プロトタイプの開発も含め既存のセルフレジアプリ「レジゴー」と相性の良いサービスにまとめ上げた点が高く評価されました。苫小牧高専4年生、石川高専4年生、福井高専3年生により構成されたチームの発案で、まさに異高専のパワーを結集した内容となりました。また、独創的なアイデアに対して用意されたチャレンジ賞は、地域課題である除雪作業を、デジタル宝探しの要素を持たせた雪かきゲームとして実施することで、積雪の多い地域の商業施設を活性化する提案を行った仙台高専5年生、熊本高専4年生、福井高専3年生のチームに贈られました。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

当社では、今後も全国の高専及び高専卒業生との連携を深めながら、地域密着かつ専門性の高いユニークな技術教育カリキュラムを持つ高専の学生を支援していく予定です。

※ 当社では、創造的企業への変革を目指し、社員が従来の発想にとらわれることなくアイデアを出し合い、新たな価値を創出することを目的とした社内プロジェクト「Nikko Ventures」を2019年9月に立ち上げ、その中で選抜されたプロジェクトチームの事業案を、2020年3月に設立した Nikko Open Innovation Lab にて推進しております。



以上